

後世に伝えるべき治山

よみがえる緑

昭和の中期までよく見かけられたはげ山や、幾多の災害に傷み付けられた国土は、先人たちの努力により、緑がよみがえり、美しい景観を取り戻しつつあります。

林野庁では、治山事業を開始して100年を経過したことを期に、後世に伝えるべき治山として選定し、治山事業の役割や森林の災害防止機能などについて国民の皆様の理解が醸成されるよう、広報・普及していくこととしました。

●「後世に伝えるべき治山」選定委員

あおき なお
青木 奈緒 作家

おおた たけひこ
太田 猛彦 東京大学名誉教授

なかた そういちろう
中田 聡一郎 写真家

よねくら ひさくに
米倉 久邦 ジャーナリスト

わくい しろう
涌井 史郎 岐阜県立森林文化アカデミー学長

(敬称略、五十音順)

現在、7月末を締め切りに森林管理局及び都道府県に候補箇所の推薦をお願いしています。

推薦に当たっては、市町村や地域の関係者から推奨をいただくことができます。

選定委員会開催状況 <http://www.rinya.maff.go.jp/j/tisan/tisan/iinkai/index.html>

◆お問い合わせ

林野庁治山課 (担当 開藤、林)

電話 03-6744-2309

FAX 03-3503-6499